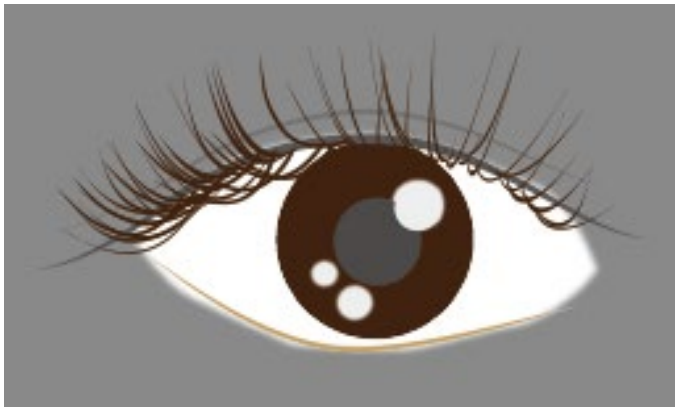
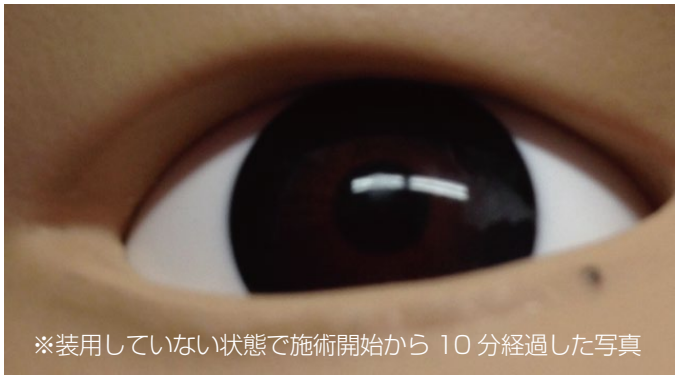
まつげエクステ施術中は「コンタクトレンズ」を外す

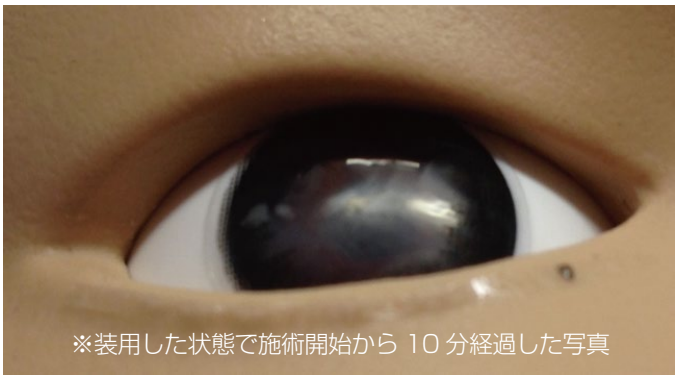
コンタクトレンズを装用したままの施術は危険です。薄目が開いた状態での施術を助長することになり、粘膜部分及び角膜・結膜の露出によるトラブルを引き起こします。

レンズの濁り





※装用していない状態で施術開始から 10 分経過した写真



※装用した状態で施術開始から 10 分経過した写真

※白く濁ることがある

上記イラストのように、薄目が開いた状態で施術した場合はグルー硬化時に極微量発生する揮発物質によって、レンズ表面が白く濁ることがあります。白く濁ったレンズをそのまま使用すると、付着した揮発物質による酸素透過率の低下、結膜（まぶたの裏等）の刺激に起因するトラブルを生じる恐れがあります。まつげエクステ施術の際は、必ずコンタクトレンズを外すということを常に意識して施術にあたって頂くことがトラブルリスクを未然に防ぐ方策となります。

※1　眼を閉じた状態では涙が出ずに眼が乾く。
※2　レンズの厚みによって薄目が開きやすい。
※3　レンズ装用によって刺激に気付きにくい。